

# ベトナムの伝統工芸と図画工作科・美術科における指導の実際

前ハノイ日本人学校 教諭

岐阜県各務原市立鵜沼中学校 教諭 後 藤 弘 行

キーワード：ナショナルカリキュラム，国定教科書，画一的教育，伝統文化，教育の目的

## 1. はじめに

教職に就いて以来，美術教育の研究に携わってきたが，ベトナム社会主義共和国で勤務する貴重な機会を頂いたことで，ベトナムの美術教育について調査する機会を得た。調査内容はベトナムで行われている図画工作科・美術科の一端にすぎないが，自己の実践を見つめ直す貴重な経験となった。その調査内容について記す。

## 2. 図画工作科・美術科の教科書と内容

ベトナムでは国定教科書を各家庭で購入する。日本のように無償給与ではなく，書店などで購入する。小学校では「Mi thuật (芸術)」と題された教科書と「VỞ TẬP VẼ (描く練習帳)」と題されたテキストを使用する。中学校では音楽の内容も教科書に含まれ，中学校4年間の教科書は6年生～9年生用となっており，前半が音楽，後半が美術の内容となっている。中学校で使用している教科書の内容を詳しく見ると，中学4年生(教科書9)では，学習内容が18項目あり，Ve tranh (絵画) 4項目，Ve trang tri (デザイン) 5項目，Thuong thuc mi thuật (鑑賞) 4項目，Ve theo mau (デッサン・見て描く練習) 5項目となっている。絵画・デザイン領域と鑑賞領域が音楽の内容と一緒に一つ一つの教科書になっている。小学校で使用している教科書は，お絵かき色塗りドリルのようなものである。教科書を見る限り，学習する内容はどの学年もほぼ同じである。小学校で学ぶ図画工作科の内容で特徴的なことは，次のようにまとめることができる。

- ①ビネットを用いた装飾の学習
- ②容器や果物，花，動物をモチーフとした表現
- ③描く方法や手順に従って描く練習
- ④愛国心を育む題材
- ⑤既製の作品を用いた着色の学習

## 3. 図画工作科・美術科の指導 (小学校4年生 図画工作の教科書「Mi thuật 4」より)

絵画・デザインの領域を学習する時間は，必ず「1. Quan sát, nhận xét (観察，注視する)」ことから始まっている。次に「2. Cách vẽ (描く方法)」が必ず示されており，参観した図画の授業でも教師は描く手順についてプレゼンテーションソフトを使用して児童に示していた。工作や粘土(彫塑)の領域を学習する時間でも，必ず「1. Quan sát, nhận xét (観察，注視する)」ことから始まり「2. Cách tạo (作成方法)」や「2. Cách nắn (彫刻する方法)」が具体的な手順で示されている。発想や構想の力を求めることなく「このようにすればよい」という手順が示されている。そして，どの領域でも「3. Thực hành (練習)」で締めくくられている。授業の多くは，ここで国定教科書に対応した内容で作成・販売している練習帳を使用している。

日本で行われている学習活動のように複数の時間をかけて一つの題材を実施するのではなく1時限(35分～40分)で一つの内容をこなしていくカリキュラムが具体的な手順とともに示されている。それは鑑賞領域でも同様である。

絵画・デザイン領域	工作・彫塑領域	鑑賞領域
1. 観察、注視する。	1. 観察、注視する。	1. 概要説明。
2. 描く方法	2. 作成方法	2. 解説
3. 練習	3. 練習	3. 意見

#### 4. ベトナムの伝統工芸「版画」についての指導

日本と同様にベトナムでも、伝統文化について学んでいる。小学校4年生 図画工作の教科書「Mi thuật 4」の19時間目に、ベトナムの版画について学ぶ時間が位置づけられている。教科書の内容を読み解いていくと、日本の鑑賞の授業とは大きく異なることが分かる。ベトナムの鑑賞の授業は作品の理解が中心であり、感じ取ったことよりも児童生徒が理解したことや知っていることを確かめることが重要なのである。日本では「紙版画」「コラグラフ」「木版（単色・多色・彫り進み・多版）」など、凸版による製作（制作）が小学校3年生から6年生まで実施することができるよう教科書に掲載されているが、ベトナムの教科書には版画による表現を行う授業が位置づけられていない。

#### 5. ベトナムの教科書にみられるアジアの美術についての指導

中学校学習指導要領解説美術編には、「日本および諸外国の美術の文化遺産」について、次のように解説されている。

日本や文化面で日本とかわりの深いアジアについては関心が低い傾向にあるので、関心を高めながら日本とアジアの美術を取り上げることが大切である。

ベトナムでも、アジアの美術について学ぶ。中学校3年生の美術の教科書「Mi thuật 9」の16時間目に、アジアの美術について学ぶ時間が位置づけられている。ベトナムの教科書では、掲載内容のほとんどが解説であり、その解説を読んでまとめることを指示している。書いてあることをどれだけ理解できたかが重要であり、生徒の見方や感じ方は重要ではないのである。

#### 6. ドンホー版画師 NGUYEN HUU QUA 氏を訪ねて

こうした伝統文化・鑑賞指導の実情を知ったことで、ベトナムの伝統工芸であるドンホー版画師の思いを調査したいと考えた。ドンホー版画は、ハノイ市内から車で約1時間のところにあるバックニン省のドンホー村で製作されている。ユネスコからも評価されており、人々のよりよい生活への願いが込められた作品として魅力がある。しかし、現在ドンホー版画を製作している家はたったの2軒である。その内の1軒である、NGUYEN HUU QUA 氏は、父親のSAM氏が戦火の中、守りぬいてきた版木や作品を受け継ぎ、伝統の技と心を伝えている。

QUA 氏はドンホー版画に対する思いを次のように語っている。「この村では、昔はドンホー版画を作る人がたくさんいて、テト（旧正月）前にはたくさんの版画が市場で売られていた。ドンホー



QUA 氏と私

版画はどの家にもかざられていて、たくさんの人がテトのお祝いとして新しいものに買いかえたものだ。しかし、今はベトナムの人たちの生活が豊かになり、他の絵を飾ったり部屋そのものが明るくなったりしたため、版画で部屋を飾ることに関心がなくなってしまった。版画が売れなくなった家は、仏壇の飾りものを作る仕事に切り替えている。国から、伝統を守るための支援を受けているが、生活への願いがこめられたドンホー版画を伝統文化として大切にしていこうとする気持ちがベトナムの人々に広まることを願っている。」

日本にも庶民の間に広まった浮世絵という多版多色木版による表現が伝統文化としてあり、木版画の授業を小学生から中学生まで行っている。ベトナムでは、図版を見て学習する機会はあるものの、製作（制作）することはしていない。教育事情とともに国の伝統文化が守られていくことを願ってやまない。

## 7. 伝統的なデザインからの新たなデザインへ Bát Tràng (バッチャン焼き)

ハノイから車で40分のところに、伝統的に焼き物を製造・販売しているバッチャン村はある。バッチャン村の人口はおよそ2000人で、村にはおよそ120の店舗がある。各店に工房があり、およそ1000人の方が職人として働いている。ドンホー版画との大きな違いは、カップや皿、花瓶などを大量生産し、様々な国に輸出している点にある。日本のデパートやレストランとの取引があり、日本人観光客が多く訪れる。

電動ろくろと型を使った成形、ガスを燃料とした釜の使用がほとんどとなり、伝統として引き継いでいる職人の技は、絵付けにのみ見られる。絵付けの模様には伝統がある。蓮・菊・蝶・トンボなどは伝統的なデザインであり、ベトナムの教科書にもそのデザインの美しさが取り上げられている。しかし、日本をはじめとする海外のホテルやレストランの要望を受け、新しいデザインの作品も製造するようになってきた。ハノイ市内ではニューバッチャンとして観光客相手に販売されている。

図画工作・美術科の学習において、文化理解は重要な内容である。伝統的な様式を学ぶことは大切であるが、新しい表現を生み出すための学びを進めることも大切である。日本の教科書が改訂されるにつれ、現代美術の作品が多く掲載されてきた。今後、ベトナムの教科書にも新しいベトナムの文化、新しい表現の作品が取り入れられることを期待する。

## 8. 現地校 小学校3年生の授業を参観して

現地の公立小学校で小学3年生の Mĩ thuật (図画工作) の授業を参観した。内容は、「果物を描く」授業であった。児童はモデルをもってきてはいるが、表現活動とモデルとの関連性(児童の対象に対する見方)はほとんどなく、教師がプレゼンテーションで示した映像を見て、概念図を手の動きで描いていた。授業の展開としては、日本でもよくある展開(導入・表現・評価)に似ているが、練習帳を使用した授業であり、教師主導による伝達を目的とした授業であった。

児童は、果物を描いた背景に「皿」「カーテン」などを描き込み、単に果物の形を描くだけでなく、自分が表現したい果物の世界を描こうとしていた。その行為は、単なる練習ではなく、自分の思いを表現しようとする意思の表れである。教師がこの時間にどのような見方や考え方を身に付けさせようとしていたのかは、教師のプレゼンテーションから把握することができたが、児童にその見方や考え方の意識があったとは言えない。

## 9. 現地校 小学校2年生の授業を参観して

現地の私立小学校で小学2年生の Mĩ thuật (図画工作) の授業を参観した。内容は、ビネットを活用した模様づくりの学習であった。公立小学校の授業と同様、練習帳を使用しての学習であり、国が定めたカリキュラムの通りに行う授業であった。

児童の学習活動は、教師が示した手順通りに行う製作活動であり、35分という短い時間の中で、いかに子どもたちに作品をつくらせるかが教師の目標にあることがよくわかった。

教師はモニターを活用し、様々な模様を資料として示すとともに、具体的な手順や描く方法も板書で示した。児童はモニターを通して鑑賞した作品よりも、教師が板書した図形から学び、その通りに描く児童がほとんどであった。児童の中には、独自の発想で表現しようとした作品もあったが、その作品に対する教師の評価は「よくない作品」であった。知識技能を伝達する授業として行っているためであろう、児童の独自性は求めていないのである。授業後に指導者を取り上げ評価した5つの作品についてたずねたところ、2つは「できのよい作品」であり、2つは「まあまあよい作品」である。そして、最後の1点は「できのよくない作品」として評価したとの



ハノイ市内の私立小学校での図画の授業風景

ことであった。さらに、教師が黒板に示したように描くことが最もよい作品かとたずねたところ、「その通りだ」と返答された。教師の指示したように描くことができる児童がよい評価を得る授業。そこには児童の想像力も創造性もない。このような授業からは、児童は教師の意図を読み取り、指示されたことを忠実にこなす態度が育成されるだろう。

## 10. 目的は情報の伝達か

参観した授業からは、授業に対する教師の考え方が、「カリキュラム重視」「教科書重視」「情報伝達の効率化を重視した画一的教育」という点にあり、児童の思考や願いは蚊帳の外であると感じた。

ベトナムでは、教育はすべて中央政府によって管理され、政府が策定した教育課程によって目的・内容・実践方法・年間の授業の計画が定められている。児童生徒は国定教科書（NHÀ XUẤT BẢN GIÁO DỤC VIỆT NAM 発行）を自費で購入し使用しているが、この国定教科書に記載されている具体的な内容に従って教師は授業を行っている。どの教科の教科書にも年間の授業時数に合わせて一単位時間の学習内容が定められており、教師の独自性や題材の工夫など、どれだけ取り入れることが可能なのかという疑問がある。

文化は人々の生活に根ざし、時代とともに継承されながらも形をかえていく。図画工作・美術科の学びは、時代とともに変化する人々の生活への願いや文化とともに変わっていく。今の時代に生きる児童生徒に見合った指導内容や表現題材であるべきだと常に考えている。ベトナムは今、急速な発展をとげており、今後は社会の変化とともに人々の生活も多く変化するだろう。それにしたがって、ナショナルカリキュラムや国定教科書の内容、そして指導方法がどのように変化していくのか楽しみである。

## 11. おわりに

調査を経て実感したことは、日本（自分）の教育実践がベトナムで行われている授業と確かに違うということ強く主張できるようにしたいということである。

教師自身の指導内容の知識は確かか。児童生徒の思考の流れにそって学習活動を展開しているか。教えるべきことは当然教えるが、効率よく知識の伝達を図ることだけにとらわれていないか。児童生徒の実生活に根ざした教材の準備や、興味・関心とともに既有知とのズレからくる問題意識を解決しようとする児童生徒自身の学びになっているか。こういった教師自身の指導のあり方を見直す機会にしなければ、現地の教育事情を調査した意味がない。

ベトナムの教科指導の実際を調査していくことで、日本の教育に対する考え方や教師の姿勢とは全く異なることが分かった。しかし、教科書の内容をこなして「できた」とするなら、それはベトナムで調査した授業と全く同じことをしていることになるのではないか。ベトナムの教育の在り方を否定しているのではない。日本の教師は学習指導要領を正しく理解し、目の前にいる子どもたちの姿をつぶさに見つめ、子どもたちが確かな学力・生きる力を身に付けることができるよう研修と修養にはげまなくてはならないと強く感じた。

### 調査報告のための参考図書

- ・ベトナムの教育改革 田中義隆著（明石書店）
- ・現代ベトナムを知るための60章（明石書店）
- ・ベトナムの教科書「Mi thuat 3・4・5・6・7・8・9」
- ・ベトナムの図画工作の授業で使用している練習帳「VO TAP VE 4」
- ・図画工作3・4上 3・4下 5・6上 5・6下（日本文教出版）
- ・美術1 美術2・3上 美術2・3下（日本文教出版）
- ・学習指導要領 平成20年3月公示 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 平成20年9月 美術編 文部科学省

### 調査協力

- ・ドアンティディエム小学校（ハノイ市：私立）
- ・チュンバン小学校（ハノイ市：公立）
- ・ロモノソフ中学校（ハノイ市：私立）
- ・ハノイ日本人学校ベトナム語講師ハン